

河口堰開門めざす釜山広域市の取り組み

ナクトンガン（洛東江）が流れる韓国第二の都市プサン広域市（人口 341 万人）にはナクトンガン河口堰があります。1987 年に完成したもので延長 2,230m です。韓国の河川は日本の河川と比べ広大です。ナクトンガンの延長は 525 km で、河口には雄大な湿地が広がり世界的に有名な渡り鳥の飛来地となっています。またナクトンガンはプサン市民の水道水源でもあります。

しかし、河口堰によって流れが止められたナクトン川では水質悪化が進み水道水源として深刻な状況となっています。また、河口堰が引き起こす湿地環境の変化は渡り鳥の激減をはじめ生態系全体に甚大な影響を及ぼしています。こうしたもとでプサン市では河川環境改善をめざす研究が進められてきました。そして昨年プサン市長はナクトンガン河口堰を「2025 年までに全面開放することを目標に 2017 年から一部開放」を発表しました。河口堰開放には農民の側から「塩害」を危惧する反対もあり、プサン市は市役所内に河口堰開放に向けた担当部署（河川再生推進団）を設置するとともに、学者研究者、環境市民団体、農民などで構成する委員会を設け調査・検討を進めています。国に対しても河口堰開放に向けたさらなる研究を求めています。

（武藤）

